

子供の独立を機に夫婦二人の老後を意識した住居へとリフォームした例である。減築によって作られた上部開口部と連なる吹き抜けは、主となる居住空間である1階に光と風を十分に届けることができる。高効率設備も組み込んで環境にも配慮した美しい住処である。

リフォーム前後の写真



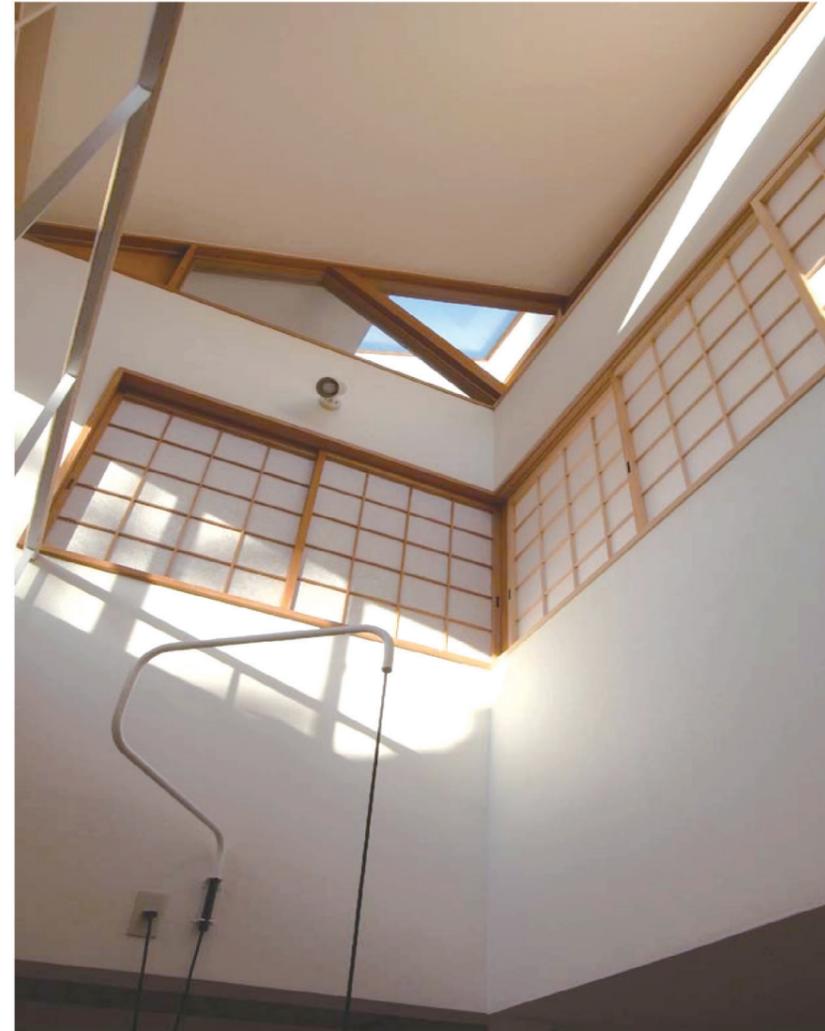
A. リフォーム前の2階LDK



B. リフォーム前の2階LDK



C. 減築により吹き抜けをつくる



D. 吹き抜けを囲む障子



E. ミニ図書館から
切り取られた空をのぞむ



F. 障子と天窓から
家全体に風が流れる



G. 障子を開け
視覚的に広がる2階

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

25年前に家族3人の家を新築したが、子供の独立を機に夫婦二人の終の住処に向けての改修工事を行う。住宅密集地のため、当初は2階にLDKを設けハイサイドやトップライトから積極的に光を取り入れた明るいLDKを目指したが、老後の生活に向けて1階で全ての生活が完結できるようにLDKを1階に移した。	に変化し、視覚的な開放感を各室で味わう事ができる。吹き抜けを通して既存開口部で切り取られた空や雲の流れ、刻々と変化する光や影を各室で感じ、季節の移ろいを楽しむ事が出来る。
減築により吹き抜けを設け、既存の開口部から1階に光が落ち、明るいLDKになった。本棚で囲まれた吹き抜けの2階は、大学退官後の施主のミニ図書館となる。	吹き抜けを設けるに際して、1階の床には床暖房を新設し、太陽光発電とエネファームを採用した。電気料金ゼロのシーズンもあるという。
既存の障子に新たに増設した障子や寝室上部の水平引き戸、天窓を臨機応変に開閉しながら、家全体に採光と通風を確保すると共に、室内や室外の見え方が様々	老後に向けて生活全般を1階で完結する事を可能にした工事であるが、在宅時間が多くなり単調になりがちな老後の生活が、吹き抜けを通して自然や視覚の変化を楽しみながら豊かな老後の生活になる事を期待する。

性能向上の特性

バリアフリー性能、温熱性能、室内採光環境、耐久性

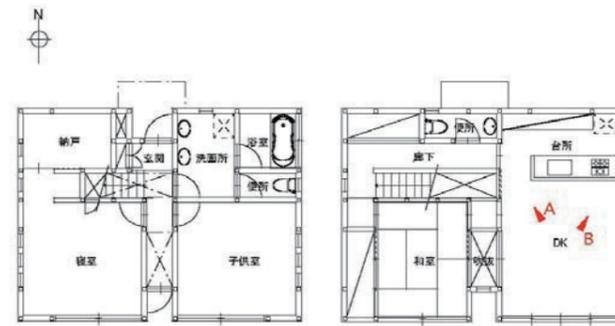
特に配慮した事項

還暦を前に将来、1階で全ての日常生活が送れるように計画。建具で囲まれた吹き抜けは採光、通風に有効的に働く。

データ

所在地	奈良県奈良市	築後年数	25年	施工期間	65日間
該当工事面積	57.14㎡	総工事床面積	57.14㎡	該当部分工事費	1,500万円
居住者構成	15歳以上64歳未満：2人、65歳以上：0人、15歳未満：0人、ペット：				

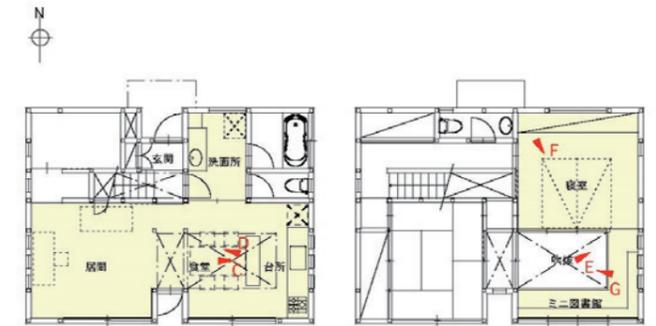
リフォーム前



既存1階平面図

既存2階平面図 s: 1/150

リフォーム後



1階平面図

2階平面図 s: 1/150

リフォーム部位：■居室 / ■台所 / □浴室 / □便所 / ■洗面所 / □廊下 / □階段 / □玄関 / □エクステリア / □マンション共用部分